

茨城の未来予想図を見にいこう！



IBARAKI

茨城県総合計画

CHALLENGE

「新しい茨城」への挑戦

2018-2021

BOOK

〈未来のはじまり〉



知事

私たちが暮らしている現代は人口減少やグローバル化などいろいろな課題があって、未来が予測しづらい、不確実な時代だと言われているんだ。



知事

そう、先が見えにくいということ。でも逆に、茨城県にとっては世界から注目されて、大きく成長できるチャンスともいえるんだ。



知事

これからの茨城県が大きく発展していくためには、前例にとらわれずに新しいチャレンジに取り組むことが大切。そのチャレンジを示したのが「茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦～」なんだよ。



レンジ君

不確実？



レンジ君

そんな時だからこそ、頑張ればうまくいってことなんだね。



レンジ君

なんか面白そう。タイムマシンに乗って未来の茨城を見に行ってみるね。

ボクはレンジ、いっしょにいるのはチャーだよ。



茨城で秘密裏につくられていたタイムマシンのパイロット、レンジくん。世界のネットワークとつながるロボット犬、チャーと一緒に未来を旅する。

茨城のポテンシャルを活かして



～「新しい茨城」への挑戦～でめざすもの

基本理念『活力があり、県民が日本一幸せな県』

時代の変化に的確に対応し、これからの茨城を切り拓いていくためには、本県のポテンシャルを最大限に活かし、茨城のあるべき姿を見据え、これまでの常識にとらわれず、新たな発想で果敢に挑戦していかなければなりません。

県民の皆さんが、未来に希望を持つことができ、自由で新しい発想のもと、自身のかなえたい夢に向かって挑戦を続けられることが、県民が日本一幸せな県につながっていきます。



「県民が日本一幸せな県」って、どんな風になっているのかな？

2050年頃の陸・海・空の交通ネットワーク

2050年頃には県内外との対流・連携が一層活発化し、誰もが『夢・希望』に溢れる生活を送る基盤が整備されています。

道路・鉄道・公共交通機関等

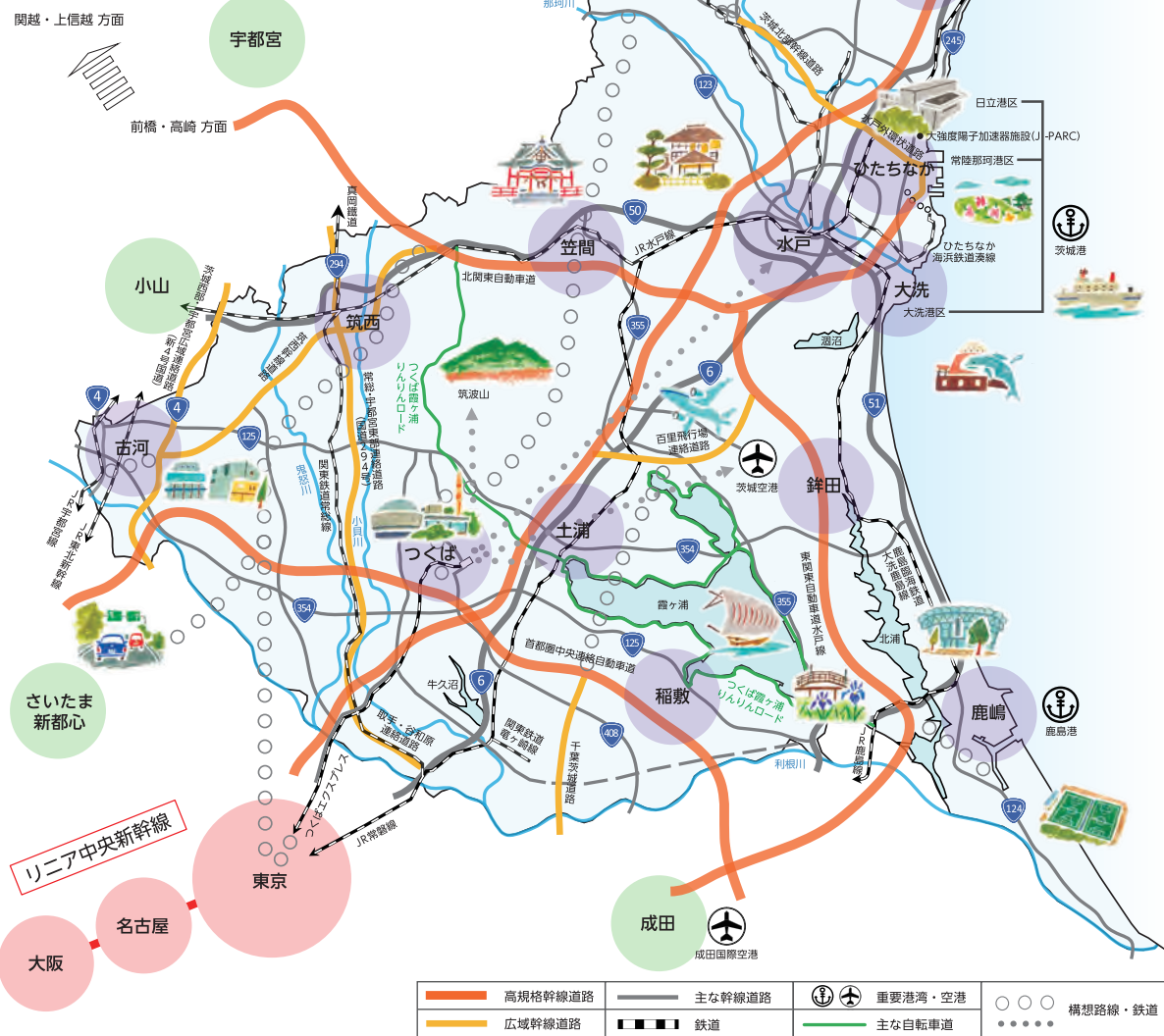
- 高規格幹線道路の整備など、広域交流と地域間連携を支えるネットワークの構築
- 東京方面とのアクセス強化など、三大都市圏等とのアクセス性向上と県内への波及

港湾・空港

- 産業を支える拠点と、国内外と夢をつなぐ首都圏のニューゲートウェイ

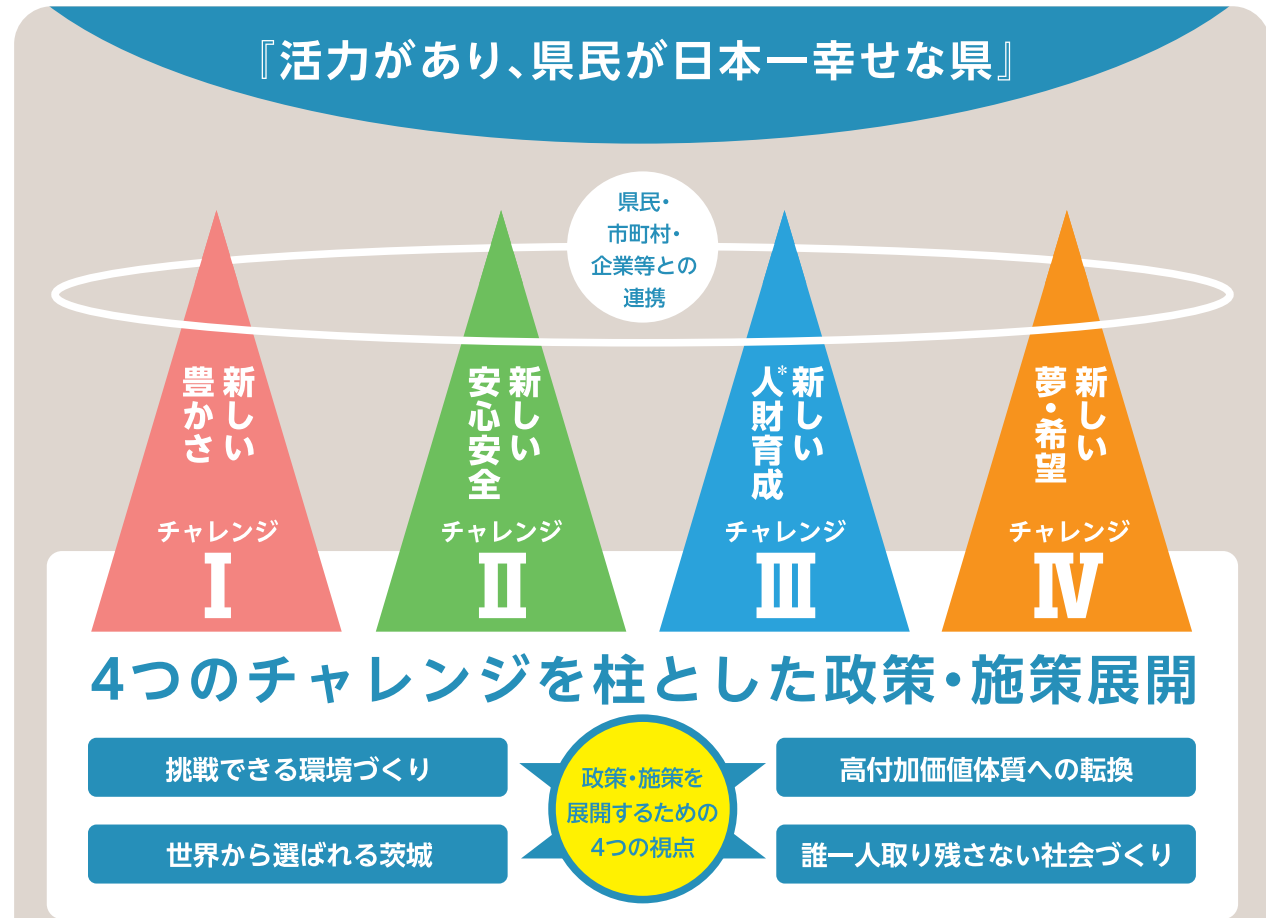
暮らしを支える社会資本

- 県民の命と財産を守り、安心安全な暮らしを支える社会資本の整備・長寿命化



4つのチャレンジで未来をつくる

今後直面する課題に対して、本県のポテンシャルを最大限活かしながら県民の皆様が「豊かさ」を享受し、「安心安全」な生活環境のもと、未来を担う「人財」が生まれ、「夢・希望」に溢れた「新しい茨城」づくりに取り組み、基本理念に掲げる「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、4つの「チャレンジ」を推進します。この計画は、2018年度から4年間を計画期間とし、併せて、今後、本県が飛躍するために重要なこれからの10年を見据えて「重点施策」や「チャレンジ指標」を設定しています。



次のページから4つのチャレンジをご紹介します▶

視点①「挑戦できる環境づくり」

県民誰もが、自身のかねえたい夢に向かって果敢に挑戦できる環境をつくります。

視点②「高付加価値体質への転換」

本県のポテンシャルや地域資源を再発見し、磨き上げることで、更に価値を高め、「詰める」仕組みをつくります。

視点③「世界から選ばれる茨城」

グローバル社会が進展する中でも、世界から選ばれるように、あらゆる分野で本県の存在感を高めていきます。

視点④「誰一人取り残さない社会づくり」

性別・国籍・家庭環境等に関わらず誰もがいきいきと暮らせる社会を築きます。



*茨城の未来をつくる財(たから)を育成したいという思いから、「人財(じんざい)」の言葉を使用しています。

チャレンジ

I 新しい豊かさ

力強い産業の創出と
ゆとりある暮らしを育み、
新しい豊かさを目指します。



チャレンジ

II 新しい安心安全

医療、福祉、治安、防災など
県民の命を守る
生活基盤を築きます。



重点施策：戦略的な企業誘致と「儲かる農業」の実現

1 質の高い雇用の創出

成長分野の企業誘致を強力に進め、若者に魅力ある雇用をつくります。

- 研究施設・IT関連企業などの誘致
- 東京圏からの本社機能の誘致
- 産業を支える幅広い人材育成

2 新産業育成と中小企業等の成長

先端技術を取り入れた新産業の創出や、中小企業の支援を行います。

- 先端技術を取り入れた新産業育成
- 医工連携の促進
- 新しい産業集積づくり
- 中小企業の技術力向上や販路拡大

3 強い農林水産業

ブランド力強化や国内外の販路開拓などの取組を推進します。

- 農林水産業の成長産業化
- 未来の担い手づくり
- 県食材の国内外への販路拡大
- 美しく元気な農山漁村の創生

4 多様な働き方

多様で柔軟な働き方を実現するとともに、東京圏から本県への新しい人の流れをつくります。

- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 女性が活躍できる環境づくり
- 移住・二地域居住、UIJターンの推進

5 かけがえのない自然環境の保全・再生

豊かな自然環境を守るとともに、環境への負荷が低い社会環境づくりを推進します。

- 泳げる霞ヶ浦の実現
- 地球温暖化対策の推進
- 循環型社会づくり

◎チャレンジ指標◎

1人あたり県民所得 (全国順位)	雇用創出数 (期間累計)	生産農業所得 (販売農家1戸あたり)
県民の豊かさ、10年後には全国トップレベルへ 2015年 10位 (307.9万円) ▼ 2027年 ▼ 2021年 8位以内 ▶ 5位以内	新産業の創出や本社機能の移転などの取組を通じて雇用の場を確保 2016年 2,415人 ▼ 2027年 ▼ 2021年 12,000人 ▶ 30,000人	儲かる農業の取組を進め、10年後には、全国トップレベルへ 2016年 373万円 (全国9位) ▼ 2027年 ▼ 2021年 500万円 ▶ 1,100万円

重点施策：茨城県医師不足緊急対策行動宣言

6 県民の命を守る地域医療・福祉

医療従事者の確保や、遠隔医療の活用、がんや精神保健対策など、地域医療・福祉の充実を図ります。

- 新たな発想による医師の確保
- 新たな医療提供体制の構築
- 次世代がん治療の開発実用化
- こころの健康
- 医療施設へのアクセス道路の整備

7 健康長寿日本一

健康でいきいきと生活し、活躍できる保健・福祉・医療・介護サービスの支援体制を構築します。

- 茨城型地域包括ケアシステムの推進
- 認知症予防対策
- 高齢者の能力活用と就労支援
- 健康づくり

8 障害のある人も暮らしやすい社会

福祉サービスの充実、自立支援、就労機会の拡大と雇用の拡充を進めます。

- 特別支援教育の充実
- 自立と社会参加の促進
- 障害児・者などの自立を促すキャリア教育の推進・就労支援の強化

9 安心して暮らせる社会

治安対策の強化や地域コミュニティの活動を支援します。

- 公共交通の維持・確保
- 犯罪の起きにくい社会環境づくり
- 犬猫殺処分ゼロの実現
- 地域の力を高めるコミュニティづくり
- 上下水道の整備
- 交通安全対策の推進

10 災害に強い県土

大規模災害などの危機から県民を守るための体制強化や、原子力安全対策を進めます。

- 地域防災力の強化・減災対策の推進
- 危機に強いライフラインの整備
- 治山・治水対策の強化
- 原子力安全対策の徹底
- 危機管理体制の充実
- 緊急輸送道路等の防災機能拡充

◎チャレンジ指標◎

医師数	健康寿命
様々な医師確保を進め、着実に医師数を増加させることにより、地域医療体制が充実 2016年 県内総数5,513人 (全国46位) ▼ 2027年 ▼ 2021年 県内総数6,160人 ▶ 県内総数7,000人 <small>※順位は人口10万人あたり</small>	生涯にわたり健康でいきいきと活躍できる仕組みづくりやサービスの提供により、10年後には日本一 2016年 男性 72.50年 女性 75.52年 ▼ 2027年 ▼ 2021年 男性 72.92年 女性 76.22年 ▶ 男女とも全国1位

チャレンジ

新しい人財育成

茨城の未来をつくる「人財」を育て、
日本一子どもを産み育てやすい
県を目指します。

III



チャレンジ

新しい夢・希望

将来にわたって夢や希望を
描ける県とするため、観光創生や
魅力度向上を図ります。

IV



重点施策：グローバル社会で活躍する「人財」育成

11 次世代を担う「人財」

「知・徳・体」のバランスのとれた教育を推進するとともに、グローバル社会で活躍する「人財」を育成します。
■基礎的・基本的な知識・技術の定着 ■英語教育・プログラミング教育の充実
■アントレプレナーシップの醸成 ■郷土教育の推進

12 魅力ある教育環境

茨城の将来を支えリードする多様な人財を育成するため、ICT教育先進県を目指します。
■ICT活用指導力の向上 ■正しいメディアとのつきあい方
■時代の変化に対応した学校づくり

13 日本一、子どもを産み育てやすい県

幼児教育・保育サービスの充実や教育費の負担軽減など、子育て支援を進めます。
■結婚支援 ■待機児童ゼロの実現 ■教育費の負担軽減 ■子どもの貧困対策
■安心して子育てができる環境の整備

14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城

生涯学習への取組や、文化・スポーツ・遊びを楽しむ環境づくりを推進します。
■生涯学習・リカレント教育の推進 ■文化芸術の振興
■する・見る・支えるスポーツの支援 ■遊びある楽しい生活スタイル

15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会

誰もが能力を発揮でき、人権が尊重され、それぞれの多様性を認め合う共同参画の取組を推進します。
■外国人の生活環境の充実 ■ダイバーシティ社会の構築 ■いじめを生まない社会づくり

◎チャレンジ指標◎

子どものチャレンジ意欲	生徒の英語力	県民が希望する子どもの数と実際の子ども数の差
課題に対して自ら考え、自ら取り組んでいたと思う生徒の割合	(英検取得(中学:3級、高校:準2級)又は相当の割合)	
チャレンジ意欲の高い人財の育成状況、10年後には全国トップレベルへ	グローバル社会で活躍する人財の育成状況、10年後には全国トップレベルへ	子どもを産みたい人の希望をかなえ、産み育てやすい県へ
2017年 78.8%(全国11位)	2017年 中学 43.3%(全国9位) 高校 36.2%(全国35位)	2017年 0.45人
2021年 81.4%	2021年 中学 60.4% 高校 58.0%	2021年 現状より改善
2027年 85.0%	2027年 中学 75.0% 高校 82.0%	2027年 現状より改善

重点施策：戦略的なトータルブランドの形成

16 魅力度No.1プロジェクト

茨城ブランドの国内外への情報発信力の強化、ブランド力の向上を図ります。
■重要PRテーマ「観光誘客」「農林水産物のブランド化」「企業誘致」の戦略的な国内外への情報発信
■トップセールスの推進

17 世界に飛躍する茨城へ

県産品の輸出を促進するとともに、ベンチャー企業の支援などによりイノベーションの拠点の形成を図ります。
■県産品・工業製品の輸出強化 ■若者への起業家教育・ベンチャー支援

18 ビジット茨城～新観光創生～

本県の新たな魅力づくりを進め、国際交流の活性化を推進することにより、新たな観光創生を目指します。
■インバウンドの取り込み ■外国クルーズ船の誘致
■里山・海浜リゾートなど新しい観光の創造 ■都市公園の魅力の向上

19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功

受入体制の整備、機運の醸成や運営ボランティアの育成などを進め、大会を成功へ導きます。
■県民総参加の機運の醸成 ■スポーツイベントを契機とした魅力発信
■会場や周辺道路などの環境整備

20 活力を生むインフラと住み続けたくなるまち

広域ネットワークをはじめとした社会資本を整備するとともに、人にやさしい魅力あるまちづくりを進めます。
■道路や鉄道などの交通ネットワークの整備 ■空と海のゲートウェイ機能の強化
■安全で快適な生活環境づくり ■地域資源を活かした魅力あるまちづくり

◎チャレンジ指標◎

成長期待度	観光消費額	農林水産物及び工業製品等の輸出額
県政世論調査により、本県に対する県民の成長期待度を数値で把握		※県支援分
県民に夢・希望を抱かせる取組が、着実に進展	地域の「稼ぐ力」、10年後には全国上位クラスへ	海外での販路拡大により、本県の産業の活性化や活力の創造に寄与
2017年 — % ※2018年初調査	2017年 2,628億円 (2016年:19位/41都道府県)	2017年 78億円
2021年 最高値の更新	2021年 3,950億円	2021年 104億円
2027年 最高値の更新	2027年 5,450億円	2027年 144億円

地域のために何ができるのかを考え、新しい時代を切り拓こう

地域の現状と課題を踏まえ、2050年頃を展望した将来像を目指し、様々な取組を進めて地域の振興を図り、本県全体の発展に繋がります。



県西地域の将来像

広域交通ネットワークの充実により東京圏との連携を強化するとともに、歴史的街並みや伝統文化の中で、ゆとりと潤いのある生活・交流空間を形成しています。

圏央道新産業クラスターゾーン

自動車産業や流通業などの立地により地域産業が活性化し一大産業拠点を形成しています。



筑波山西部伝統・未来産業ゾーン

日本を代表する大規模園芸農業に加え、伝統的な地場産業や先端技術を活用した新たな産業がバランスよく発展した経済圏を形成しています。

県南地域の将来像

世界有数の科学技術の集積や霞ヶ浦・利根川などの豊かな水源、縦横に走る鉄道や高速道路などの交通インフラのもと、活力ある産業と豊かな自然が共生する潤いのある都市空間を形成しています。

常磐線メトロフロントゾーン

東京圏との近接性を活かし、鉄道や高速道路によるネットワークの強化を図りながら、自然と都市が調和した魅力的な生活環境を形成しています。

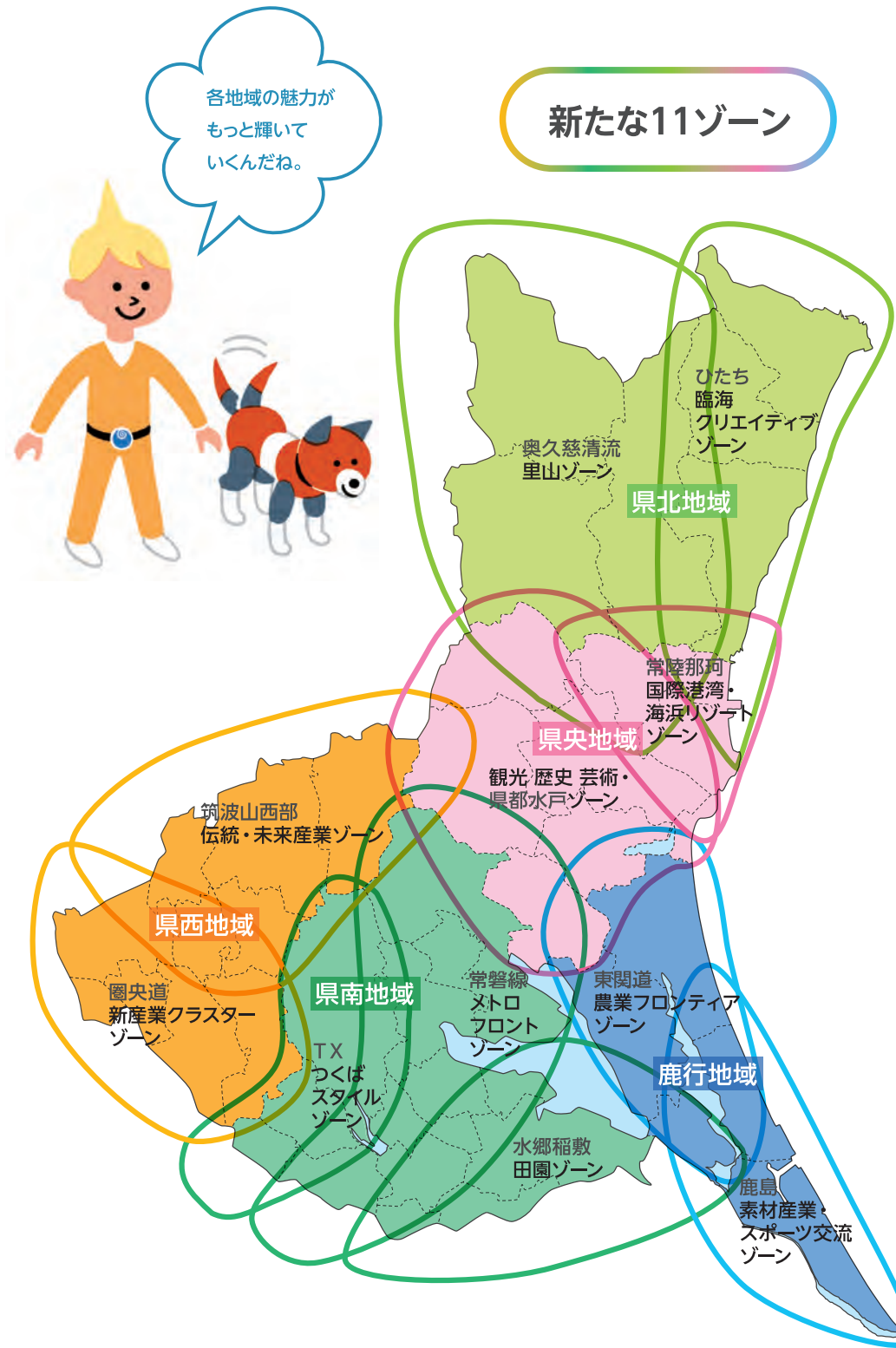


TXつくばスタイルゾーン

ロボットやナノテクなどを中心とした世界最先端の研究開発拠点から新事業・新産業を創出するとともに、科学技術が日常生活に溶け込んだ快適な都市空間を形成しています。

水郷稲敷田園ゾーン

安定した水田農業経営の確立や多様なアグリビジネスの展開などによる特色ある地域として発展しています。



各地域の魅力がもっと輝いていくんだね。



新たな11ゾーン

県北地域の将来像

産業・観光の発展や交流促進の基盤となる広域交通ネットワークの整備により、豊かな自然環境を活かした観光、移住・二地域居住や、地域の歴史や芸術、伝統文化を活かした多彩な交流が活発に行われ、ゆとりと潤いのある魅力的な地域となっています。

ひたち臨海クリエイティブゾーン

高度なものづくり産業の集積や、革新的技術の進展などにより、活力ある産業拠点を形成しています。



奥久慈清流里山ゾーン

農林畜産物の独自ブランドの確立、充実した生活支援サービスや安定した雇用の確保などにより、自立した中山間地域として発展しています。

県央地域の将来像

本県の中心として、陸・海・空の広域交通ネットワークによって国内外と結ばれ、自然、歴史、芸術、文化と産業が融合した魅力的な中核的都市圏を形成しています。

観光歴史芸術・県都水戸ゾーン

県都水戸を中心に、人・モノ・情報が活発に行き交い、北関東の発展を先導する中核的な都市圏を形成するとともに、周辺地域との強い連携体制を構築した産業拠点として発展しています。



常陸那珂国際港湾・海浜リゾートゾーン

首都圏における国内外の玄関口としての役割を担い、物流・産業拠点を形成するとともに、豊かな自然と魅力的な観光資源が楽しめる海浜リゾート地域として発展しています。

鹿行地域の将来像

美しい水辺景観と魅力的な観光資源、サッカーやサイクリングなどのスポーツを活かして交流人口が拡大しています。

鹿島素材産業・スポーツ交流ゾーン

鹿島港や東関東自動車道水戸線などの広域交通ネットワークの整備やつくば・東海地域と連携した研究開発などを背景に、鹿島臨海工業地帯を核として、多様な産業が集積した国際競争力のある産業拠点として発展しています。



東関東農業フロンティアゾーン

本県を代表する生産地として数多くの農林水産物を安定的に生産出荷するとともに、6次産業化等による高付加価値化やICT等による生産性の向上が進展しています。

未来に希望の持てる新しい茨城づくりに向けて

将来の予測が難しく、混沌とした時代を迎える中で、「活力があり、県民が日本一幸せな県」を実現するため、時代の変化に柔軟かつ確に対応し、失敗を恐れず、新たな施策に積極果敢に挑戦する県庁に変革します。



基本方針	<h1>「挑戦する県庁」への変革</h1>
基本姿勢	県民本位 ▶ 「県民のためになっているか」を常に考え、政策を実行します。
	積極果敢 ▶ 横並び意識を打破し、失敗を恐れず積極果敢に挑戦します。
	選択と集中 ▶ 目的を見据えて選択と集中を徹底し、経営資源を最大限効果的に活用します。

この基本方針と基本姿勢のもと、『活力があり、県民が日本一幸せな県』の実現に向けた施策展開を支える基盤として、**I 挑戦できる体制づくり** **II 未来志向の財政運営** の2つの取組を柱に各種施策を積極的に推進し、全職員が一丸となり、県庁の変革にチャレンジしていきます。

取組 I 挑戦できる体制づくり

●「人財」育成と実行力のある組織づくり

新たな発想で、自ら変わる勇気をもって、挑戦できる職員の育成や組織づくりを進めます。

●働き方改革の推進

ICTの積極的な活用等により効率的に仕事に取り組み、県民のための本質的な仕事に注力できる環境づくりを進めます。

●多様な主体と連携した県政運営

企業・大学・NPO・市町村などの多様な主体との連携を強化し、「オール茨城」で挑戦します。

取組 II 未来志向の財政運営

●戦略的な予算編成と健全な財政構造の確立

将来世代の受益に繋がる事業に大胆に取り組むとともに、限られた財源の有効活用を図り、本県が将来にわたって発展していくための、健全な財政構造を確立します。

●出資団体改革の推進

出資団体が効率的かつ効果的に運営され、その結果、地域の振興及び県民生活の向上を促進し、県民が更なる「豊かさ」を享受できるよう出資団体改革を着実に推進します。

茨城の未来は、夢や希望に溢れていて、とてもワクワクしたね。

この未来を実現するためにいろんなチャレンジをしていくんだね。

一人ひとりが、そしてみんながひとつになって取り組めばもっと輝く茨城になると思うんだ。

よ~し、チャー、ボクたちもチャレンジだ!



茨城県総合計画は輝く未来のための羅針盤。
ひとつひとつ進めていくためには、県民の皆さんの力が必要です。
「新しい茨城」をつくるのは、あなたです。

みんなで一緒にチャンネルアップ！新しい茨城へ



詳しくは、茨城県計画推進課ホームページをご覧ください。

新しい茨城への挑戦

検索

茨城県政策企画部 計画推進課 〒310-8555 水戸市笠原町 978-6 TEL.029-301-2523 <http://www.pref.ibaraki.jp/>

